

東京海上・宇宙関連株式ファンド (為替ヘッジあり)

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第13期（決算日2025年7月7日）

作成対象期間（2025年1月8日～2025年7月7日）

第13期末（2025年7月7日）	
基 準 価 額	18,065円
純 資 産 総 額	8,827百万円
第13期	
騰 落 率	21.5%
分配金（税込み）合計	100円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。運用報告書（全体版）は、東京海上アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記の「照会先」ホームページにアクセス
⇒「基準価額一覧」等から対象ファンドを選択
⇒「運用報告書」ボタンを選択
⇒「運用報告書」ページから閲覧・ダウンロード

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「東京海上・宇宙関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」は、このたび、第13期の決算を行いました。

当ファンドは、主として日本を含む世界の取引所に上場されている株式等の中から、成長が期待される宇宙関連企業の株式等を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、原則として、為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。当期についても、この方針に基づき運用を行いました。

ここに、当期の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

＜照会先＞

●ホームページ

<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

●サービスデスク

0120-712-016 受付時間：営業日の9時～17時

東京海上アセットマネジメント

東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング

【本資料の表記について】

原則、各表・グラフの金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年1月8日～2025年7月7日)



期 首：14,945円

期 末：18,065円（既払分配金(税込み)：100円）

騰落率： 21.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、期首（2025年1月7日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

○基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・米国のトランプ新政権による減税や規制緩和への期待
- ・堅調な業績見通しを背景に資本財およびテクノロジー関連銘柄を中心に株式市場が上昇基調で推移したこと

マイナス要因

- ・米国の関税政策をめぐる不透明感から、株式市場が下落する局面があったこと
- ・為替ヘッジなどのコスト

1万口当たりの費用明細

(2025年1月8日～2025年7月7日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	円 144 (73) (69) (2)	% 0.914 (0.464) (0.436) (0.014)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 ＊委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価 ＊購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ＊運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株式)	4 (4)	0.028 (0.028)	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 ＊売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株式)	6 (6)	0.035 (0.035)	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 ＊有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	2 (1) (1) (0)	0.014 (0.008) (0.005) (0.000)	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 ＊保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ＊監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 ＊その他は、信託事務等に要する諸費用
合計	156	0.991	
期中の平均基準価額は、15,749円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

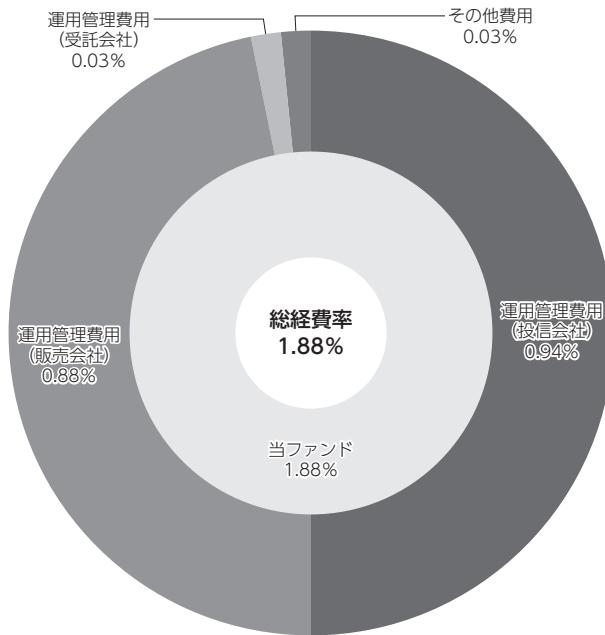
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年7月8日～2025年7月7日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、2020年7月7日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

	2020年7月7日 決算日	2021年7月7日 決算日	2022年7月7日 決算日	2023年7月7日 決算日	2024年7月8日 決算日	2025年7月7日 決算日
基準価額 (円)	10,256	13,258	10,012	10,980	12,832	18,065
期間分配金合計（税込み） (円)	—	200	100	100	200	200
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	31.3	△ 23.9	10.7	18.8	42.5
純資産総額 (百万円)	10,623	8,146	5,826	5,293	3,963	8,827

(注) 謄落率は1年前の決算応当日との比較です。

当ファンドにベンチマークはなく、また当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数もないため、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

投資環境

(2025年1月8日～2025年7月7日)

当期、世界の株式市場は上昇しました。期初、米国のトランプ新政権による減税や規制緩和への期待から株式市場は上昇しましたが、その後、関税政策や中国からの半導体輸入規制への懸念が強まり、下落基調となりました。2025年4月にはトランプ米政権による関税政策の発表を受け、貿易摩擦激化への懸念から株式市場は大幅に下落しましたが、5月以降は関税政策が想定よりも穏やかな内容になったことや各国との交渉の進展、またFRB（米連邦準備制度理事会）の利下げ期待などから、堅調な業績見通しを発表した資本財およびテクノロジー関連銘柄を中心に、株式市場は再び堅調に推移しました。

ポートフォリオについて

(2025年1月8日～2025年7月7日)

＜東京海上・宇宙関連株式ファンド（為替ヘッジあり）＞

「東京海上・宇宙関連株式マザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持しました。また、マザーファンドの通貨ウェイトに応じて対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

当ファンドの基準価額（税引前分配金再投資）は、21.5%上昇しました。

＜東京海上・宇宙関連株式マザーファンド＞

宇宙関連ビジネスにおいて高い技術力や競争力を有し、政府や民間による長期的な宇宙投資計画を踏まえて成長が見込まれる銘柄を組み入れました。セクター別では、情報技術と資本財・サービス、地域別では米国の銘柄を中心に組み入れました。運用プロセスにおいては、中長期の投資リターンを実現すべく、投資候補銘柄の成長性、クオリティ、バリュエーション（投資価値を測るために指標）などの観点で厳格な基準を設け、リサーチ重視のボトムアップ・プロセスを効果的に活用したポートフォリオ構築を行いました。

以上の運用の結果、基準価額は16.7%上昇しました。

パフォーマンスの寄与度上位銘柄、下位銘柄は以下の通りです。

●寄与度上位銘柄：AST SPACEMOBILE INC（スマートフォン向けブロードバンド・ネットワークを提供）

2025年1月に同社を新規に購入しました。米国およびカナダにおける主要な周波数帯（スペクトラム）に関するファイナンス取引の発表や、防衛・宇宙関連分野へのポジティブな見方などを背景に株価が上昇し、寄与度上位銘柄となりました。

●寄与度下位銘柄：ONTO INNOVATION INC（半導体業界向けプロセス制御ソリューションを提供）

2024年10-12月期決算発表は市場予想を上回る内容だったものの、通期の見通しが保守的な内容であり、特に半導体のパッケージング分野の需要減速への懸念が強まり、株価が下落しました。マクロ経済や関税の影響による不透明感が高まったことから期中に全て売却しました。

【グループ別構成（2025年7月7日現在）】

グループ		比率
グループ1	ロケット・衛星開発製造、打ち上げサービス	34.6%
グループ2	宇宙データの利用サービス	16.9%
グループ3	宇宙ビジネスを支える関連ビジネス	33.2%
グループ4	新たな宇宙ビジネス	11.3%

*グループ分類は、ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーによる分類です。

*比率は純資産総額に占める割合です。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年1月8日～2025年7月7日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。

また、当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる参考指数もないため、記載する事項はありません。

分配金

(2025年1月8日～2025年7月7日)

当ファンドの収益分配方針に基づき、基準価額の水準や市況動向などを勘案して、次表の通りとしました。なお、収益分配に充てなかった収益については信託財産内に留保し、当ファンドの運用方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第13期	
	2025年1月8日～ 2025年7月7日	
当期分配金 (対基準価額比率)	100 0.551%	
当期の収益	5	
当期の収益以外	95	
翌期繰越分配対象額	8,064	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**<東京海上・宇宙関連株式ファンド（為替ヘッジあり）>**

「東京海上・宇宙関連株式マザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持します。また、マザーファンドの通貨ウェイトに応じて対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

<東京海上・宇宙関連株式マザーファンド>

トランプ米政権の関税政策や今後の景気動向については不透明な状況が続いているが、株式市場においてもボラティリティ（変動性）が再び高まる可能性も残っていると想定しますが、このような環境下でも、世界で宇宙関連ビジネスを展開する企業のなかから引き続き魅力的な成長機会を有する銘柄を発掘できることを考えています。

宇宙関連ビジネスに対する世界の需要は力強く、勢いを増しています。宇宙関連ビジネスは、政府主導の産業から商業化へのシフトによって、急速に成長していく転換期にあります。打ち上げ費用の低下、衛星の小型化、国家の安全や防衛の必要性の増大、規制状況の変化が新規参入企業だけでなく伝統的な宇宙・防衛企業に対しても新たな収益機会を提供しています。

引き続き、リサーチ重視のボトムアップ・プロセスを通じて、高い技術力や競争力などを持つ宇宙関連企業に投資し、中長期的なリターンの獲得を目指す方針です。

お知らせ

- ・2023年11月に成立した「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正の施行により、従来運用報告書の書面交付義務としていた規定が、電磁的方法を含む情報提供義務と改められることに伴い、2025年4月1日付で所要の約款変更を行いました。

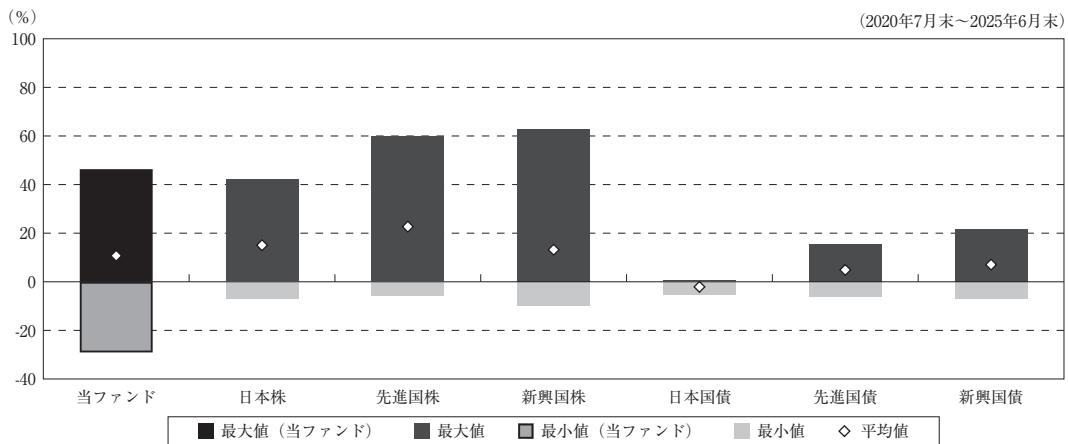
上記の通り、2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式（課税上は株式投資信託として取扱われます。）	
信 託 期 間	2019年4月9日から2044年7月7日	
運 用 方 針	信託財産の成長をめざして運用を行います。原則として、為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。	
主 要 投 資 対 象	東京海上・宇宙関連株式 ファンド(為替ヘッジあり)	「東京海上・宇宙関連株式マザーファンド」を主要投資対象とします。
	東京海上・宇宙関連株式 マザーファンド	日本を含む世界の宇宙関連企業の株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。
運 用 方 法	主として日本を含む世界の取引所に上場されている株式等の中から、成長が期待される宇宙関連企業の株式等に投資する「東京海上・宇宙関連株式マザーファンド」に投資し、高位の組入比率を維持します。銘柄の選定にあたっては、高い技術力や競争力等を持つ宇宙関連企業と判断する銘柄の中からファンダメンタルズ分析を考慮して行います。マザーファンドの運用は、ウォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーに、運用の指図に関する権限を委託します。なお、実質組入外貨建資産については、原則として、当ファンドにおいて為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。	
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の、譲り受け分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。 収益の分配に充当せず、信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	46.3	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 29.1	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	10.7	15.0	22.7	13.2	△ 2.1	4.9	7.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年7月から2025年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものであり、騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指標》

日本 株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI（国債）

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※各指標についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指標について」をご参照ください。

(注) 海外の指標は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年7月7日現在)

○組入ファンド

銘柄名	第13期末
	%
東京海上・宇宙関連株式マザーファンド	100.1
組入銘柄数	1銘柄

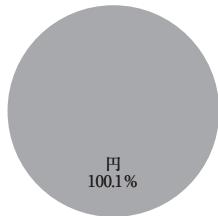
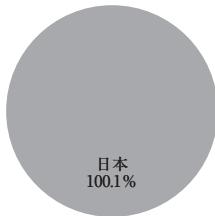
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しています。

純資産

項目	第13期末
	2025年7月7日
純資産総額	8,827,761,009円
受益権総口数	4,886,751,876口
1万口当たり基準価額	18,065円

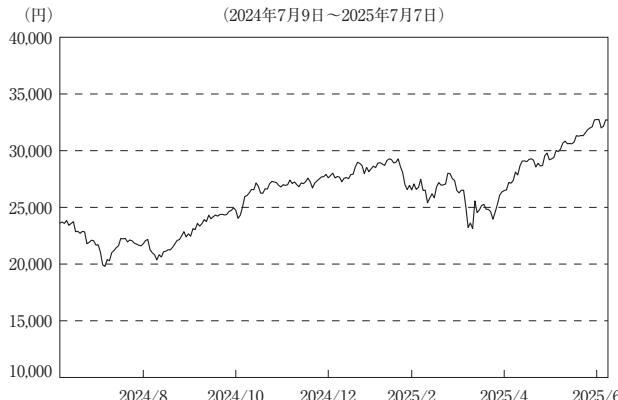
＊期中における追加設定元本額は1,769,111,634円、同解約元本額は514,882,489円です。

組入上位ファンドの概要

東京海上・宇宙関連株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年7月9日～2025年7月7日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年7月9日～2025年7月7日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 （投資信託証券）	16 (16) (0)	0.061 (0.061) (0.000)
(b) 有価証券取引税 （株式） （投資信託証券）	20 (20) (0)	0.078 (0.078) (0.000)
(c) その他の費用用 （保管費用） （その他の）	3 (3) (0)	0.011 (0.011) (0.000)
合計	39	0.150

期中の平均基準価額は、26,239円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

【組入上位10銘柄】

(2025年7月7日現在)

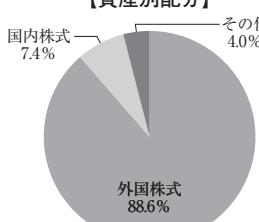
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1	PALANTIR TECHNOLOGIES INC-A	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	4.4%
2	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	米ドル	アメリカ	2.7%
3	AXON ENTERPRISE INC	資本財	米ドル	アメリカ	2.6%
4	ROCKET LAB CORP	資本財	米ドル	アメリカ	2.3%
5	LUMENTUM HOLDINGS INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	米ドル	アメリカ	2.3%
6	ZSCALER INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	2.2%
7	THALES SA	資本財	ユーロ	フランス	2.0%
8	CROWDSTRIKE HOLDINGS INC-A	ソフトウェア・サービス	米ドル	アメリカ	1.9%
9	AEROVIRONMENT INC	資本財	米ドル	アメリカ	1.9%
10	AST SPACEMOBILE INC	電気通信サービス	米ドル	アメリカ	1.9%
組入銘柄数		64銘柄			

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

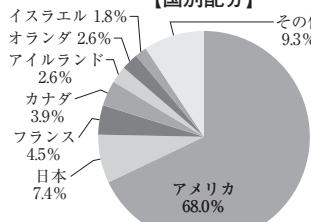
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

(注) 国（地域）につきましては発行国を表示しています。

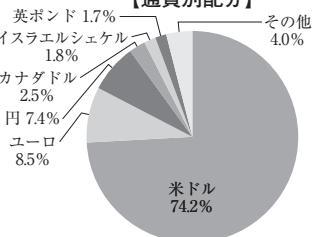
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しています。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指標について>

○TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

TOPIXの指標値およびTOPIXにかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社（以下、J P X）の知的財産であり、指標の算出、指標値の公表、利用等TOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXにかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIXの指標値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。ファンダムは、J P Xにより提供、保証または販売されるものではなく、ファンダムの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

○MSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ指数の著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI社の許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用等することは禁じられています。MSCI社はファンダムとは関係なく、ファンダムから生じるいかなる責任も負いません。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスの著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI社の許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用等することは禁じられています。MSCI社はファンダムとは関係なく、ファンダムから生じるいかなる責任も負いません。

○NOMURA – BPI（国債）

NOMURA – BPI（国債）に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックスは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

東京海上アセットマネジメント
YouTube公式チャンネル

ファンダム・マーケット関連動画などを公開しています。

